

ここから 那珂川市

K O C O C O L O R N A K A G A W A - C I T Y

那珂川市
市勢要覧





山下 良平 市制施行記念イラスト「THE RIVER」2018年



画家・イラストレーター

やました りょうへい

山下 良平 さん

福岡県那珂川市出身。「躍動」を一貫したテーマに絵画作品、イラストレーションを制作。マガジンハウス「Tarzan」表紙をはじめ、ナイキなどのビジュアル制作や、音楽フェス「SUMMER SONIC」でのライブ・ペインティング、横浜マラソン2016公式ビジュアル作成などアート・ディレクションを含めた活動にも力を入れる。画家としての活動も本格始動し、自身のアートブランド「LIKE A ROLLING STONE」を立ち上げ絵画作品の発表、販売を行う。2015年、大阪で開催されたアートフェア「UNKNOWN ASIA」で「イーラス賞」受賞。



→ 003 ここから始まる未来

003 - 004
博多南駅前ビル「ナカイチ」

005 - 006
充実した教育

007 - 008
五ヶ山クロス

→ 009 特集1 那珂川の子育て

009 - 010
家族インタビュー vol.1

011 - 012
家族インタビュー vol.2

013 - 014
子育て支援

→ 015 特集2 那珂川のひと

015 - 016
インタビュー/
イラストレーター・諫山 直矢

017 - 018
新たに生まれる
那珂川発 コミュニティ

019 - 020
インタビュー/
陶芸家・古賀 崇洋
未来を担う若者

→ 021 那珂川の景色

→ 023 那珂川の暮らし

023 - 024
福祉

025 - 026
文化／防災・防犯

027 - 028
産業

029 - 030
観光

→ 031 那珂川の歴史

031 - 032
ながわエコミュージアム/
伝統行事

033 - 034
Y氏は暇人 那珂川！路上遺産

035 - 036
那珂川町 62年のあゆみ

→ 037 那珂川のこと

037 - 038
公共施設紹介／年間イベント

039 - 040
統計／市民憲章／那珂川市議会／市長挨拶

041 - 042
NAKAGAWA MAP／MAP LIST



福岡県の中西部に位置する那珂川市は、
名前の通り「那珂川」が市の中心を流れるまちです。

「那珂川」が育んだ自然と、福岡都心部へのアクセスの良さ。
この二面性が、暮らしやすいまちとして多くの人を招き入れ、
2018年10月1日、那珂川は市になりました。

長い歴史を刻んできたまちは、いま、新たな一歩を踏み出しました。

すぐそばには豊かな自然。博多駅や福岡空港へもあつという間。
充実した子育て環境に、先進の教育制度。
地域から生まれる新たな取り組み。

このどれもが誰かの未来につながっているはずです。
那珂川市、そしてあなたの未来が“ここから”始まっていきますように。

Go, Nakagawa Future.

ここから始まる未来。

まちの入り口、アイデアの出口
人々が集い、出会い、発信する場

2018年3月にリニューアルオープンした博多南駅前ビル。愛称は、賑わいをもたらす「市(イチ)」と那珂川の「ナカ」を組み合わせ、「ナカイチ」。幅広い年代の方に利用してもらえるよう工夫が凝らされ生まれ変わった「ナカイチ」は、気軽に立ち寄って思い思いの時間を過ごしてもらえる「那珂川の東の玄関口」です。

ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川の暮らし

那珂川の歴史

那珂川のこと

JR博多駅 (JR九州提供)



最速
8分

JR博多駅から
JR博多南駅まで 片道 **300円**



JR博多南駅

住民なら当たり前!?
新幹線で通勤・通学
できるまち

新幹線が在来線特急で運行し、九州の玄関口である博多駅まで最速8分で向かうことができます。1日に約15,000人の利用者が行き交う博多南駅は市外からの来訪者の玄関口としても重要な役割を果たしています。



GARDEN FLOOR
ガーデンフロア

ナカイチの

4F

テラスや庭園のある
グリーンスペース

緑あふれる屋上庭園や屋上農園、多目的スペース、「地域住民と那珂川の生産者をつなぐ」をコンセプトにした飲食店の展開など、那珂川のコミュニティスポットとして活用されています。

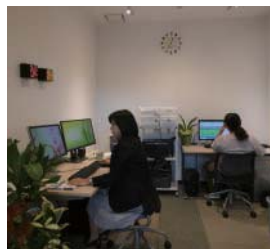
ナカイチの

3F

WORK FLOOR
ワークフロア

新しいアイデアが生まれる場

シェアオフィス・コワーキングスペースを備えるワークフロアで、会社のオフィスやサテライトなど多様な用途での使用が可能です。事業企画だけでなく、暮らしと共に豊かに働ける場所を見つけるために、イベントやセミナーなども行われ、働く環境を変えたい、新しく何かを始めたい方に向けた充実の環境が整っています。



PARK FLOOR
パークフロア

ナカイチの

2F

公園のように様々な過ごし方が
できる集いの場

博多南駅との連絡通路から直接つながる2階のフロアにはカフェを併設。人々が新幹線の利用前後にふらっと立ち寄りたくなる、それぞれに合った過ごし方ができるスペースを用意しています。



ナカイチの

1F

TERMINAL FLOOR
ターミナルフロア

交通の発着と
情報やカルチャーの発信拠点

ナカイチ前のロータリーでは毎日西鉄バス、那珂川市が運行するかわせみバスが行き交います。待合所としての役割だけでなく、地域の情報を集めたインフォメーションやアート・カルチャーを発信するギャラリースペース、飲食店、物販など、まちの魅力が散りばめられたスペースで人々を楽しませます。



Go, Nakagawa Future.

ここから始まる未来。

未来へ羽ばたく子どもたちを
後押しするチカラ

那珂川の未来を担う子どもたちが、基礎的・基本的な知識や技能を習得し、豊かな心と健やかな体を養い、生きるチカラを育むため、那珂川市では先進的な教育をいち早く導入し、教育の充実を図っています。



PROJECT No.1



ICT 教育

ICT Education



タブレット端末や電子黒板などを活用した教育

市内3中学校各校に41台ずつのタブレット端末の導入と、そのためのWi-Fi環境の整備を行いました。タブレット端末や電子黒板、デジタルテレビなどのICT機器を活用することで、生徒の学習意欲の向上につながっています。



ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川の暮らし

那珂川の歴史

那珂川のこと

PROJECT No.2



英語教育

English Education



“生きた英語”が飛び交う英語の授業

“I know!” “I know!”市内の小学校7校の授業では児童・教員ともに、授業中は全員が英語を使用。実践的な言語が飛び交う、本格的な“生きた英語”の習得を目指しています。

2020年度以降実施される新学習指導要領に先駆けて、小学校外国語教育の早期化・教科化、中学校の外国語授業の高度化に先進的に取り組んでいます。

今後も「英語教育の都市那珂川市」を目指し、取り組みを進めていきます。



PROJECT No.3



N スペ 講座

N Special Class



休日の教室を活用した無料特別講座を実施

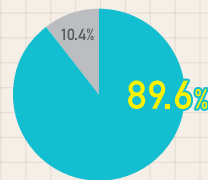
2017年度から市内全中学校の教室を使用し、土曜日の午前中を中心に、無料で民間教育団体による学習支援が受けられる「Nスペ講座」を実施しています。定員は各中学校ごとに1年生40人、2年生40人、3年生40人の計120人、3中学校全体で360人の枠での受講が可能です。

市内中学生の学習に対する意欲の喚起や、家庭学習の定着を促し、更なる学力向上を実現しています。

「Nスペ講座」を受講して

(中学3年生生徒) 2017年度アンケートより

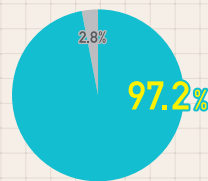
- 学力がついた
- 学力がなかった



「Nスペ講座」を受講させて

(中学3年生保護者) 2017年度アンケートより

- 受講させて良かった
- 受講させなくても良かった

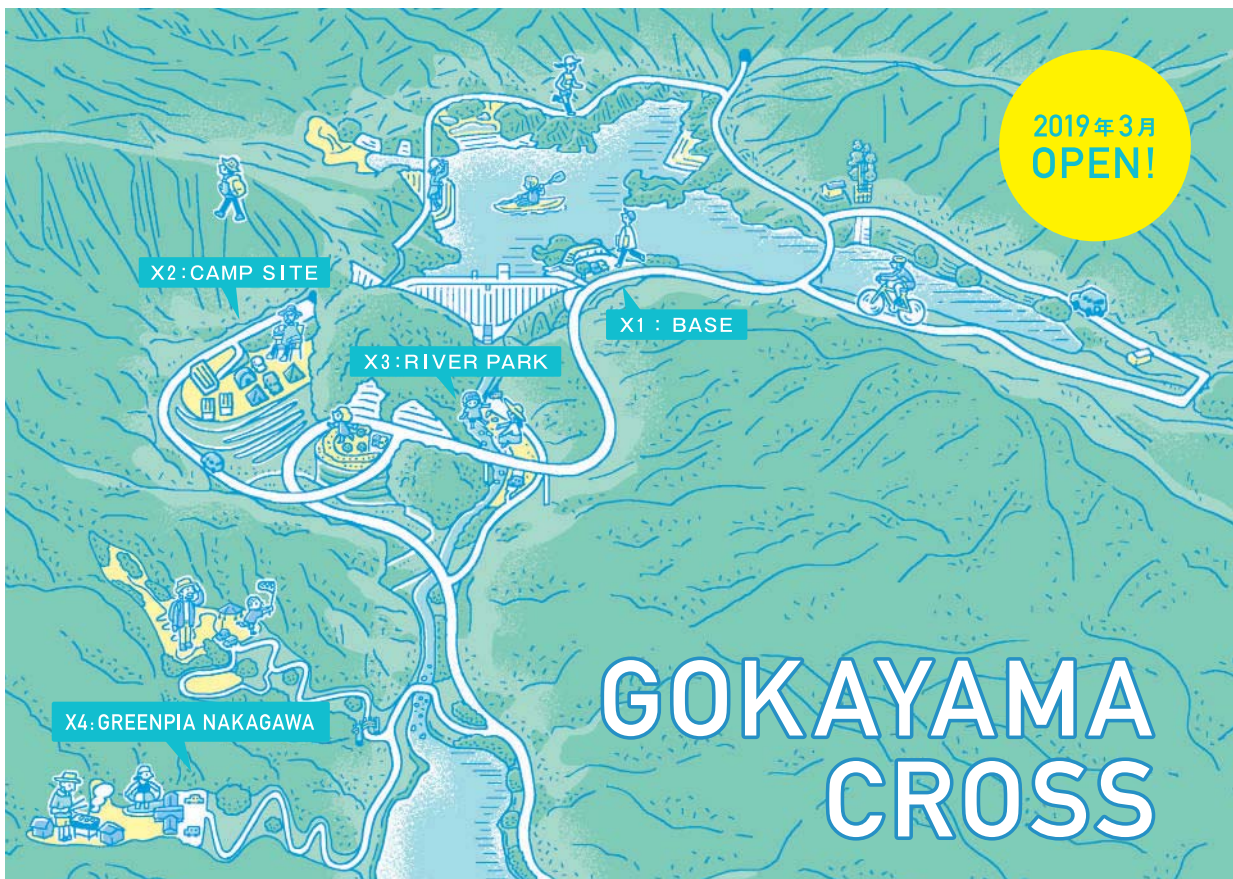


Go, Nakagawa Future.

ここから始まる未来。

アーバン
アウトドアの聖地へ

福岡都市圏から最も近いアウトドアの聖地を目指し、新たな拠点がオープンします。サイクリングやトレッキング、キャンプなどに加え、エリアの中心機能を持つ、五ヶ山ダム湖面隣接の商業施設では、カヌーなどのウォーターアクティビティも計画中です。



ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川の暮らし

那珂川の歴史

那珂川のこと

X1: BASE

物販スペースと飲食スペース、展望デッキを持つ五ヶ山クロスの拠点です。眼下に広がる広大な美しい湖畔、自然豊かな脊振山系の山々の眺望を楽しむことができる場所です。



写真はイメージです

X2: CAMP SITE

居住性が高く快適な常設テントサイトや開放的なフリーキャンプスペース、電源付きオートサイト、ベットとともにキャンプができるベットサイトなどを備えた、様々なキャンプのニーズに応える総合キャンプサイトです。



写真はイメージです

X3: RIVER PARK

五ヶ山ダム直下の川遊びが楽しめる公園です。総貯水量・堤体の長さともに福岡県1位である五ヶ山ダムがもたらす恵みある河岸は家族連れの行楽にもぴったりです。

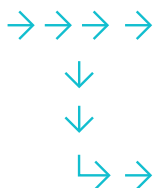


X4: GREENPIA NAKAGAWA

バンガローや野外バーベキュー場、水遊び場などを保有するキャンプ村と、四季折々の花を楽しむ花園、力いっぱい走り回れる広場などを備えたスキップ広場があります。



五ヶ山クロスの詳細は
公式サイトをチェック!



<http://nakagawa-gokayama.com>

五ヶ山クロス

検索

スマホ
でも



<http://www.pia-n.com>

グリーンピアながわ

検索

スマホ
でも



五ヶ山クロスのアクティビティや、那珂川の遊びスポットについてはP29へ!

教育・地域の環境が整う那珂川で
なりたい自分を見つけたい



よこお 横尾 秀樹さん(48)
みけ 美香さん(42)
たけし 泰士さん(15)
こころ 心音さん(7)

SPECIAL 01

NAKAGAWA
NO
KOSODATE

那珂川の子育て vol.1

那珂川の子どもたちや、
まちの印象について

秀樹さん 私はPTAの活動をして
いる関係で学校にお伺いする機
会が多いのですが、那珂川には素
直な子がとても多い印象がありま
す。顔を合わせると積極的に子ど
もたちの方から挨拶してくれるの
は、こちらも嬉しいですね。

美香さん 子どもたちが多いまち
だなと感じます。少子化が進んでい
る現代でも、那珂川では3〜4人子
どもがいる家庭は珍しくありませ
ん。子育てがしやすい那珂川の環境
が何かしら関係しているような気
がしますね。あとは地域の方々が
しっかり見てくださっているとい
う安心感があり、子どもたちが地
域で自由に遊ばせています。





那珂川の小・中学校は、保護者や地域の方々が参加する学校運営が特徴的で、学習だけでなく地域の伝統技術なども地域の方から直接学べる機会があるんです。地域の中で知り合いが増え、そこでコミュニケーションが活発に行われ、まち全体に信頼が置ける関係性を作ることができているように感じています。

那珂川の教育で注目していることは？

秀樹さん 中学校だと「Nスペ講座」(*1)という学力向上のための民間教育団体による講座を無料で受講できるのは親としてもありがたいです。「ICT教育」(*2)というタブレットなどの電子端末を授業に導入した情報教育、英語教育(*3)も小学校低学年から行われ、先進的な教育環境が充実していることは、とても嬉しいですね。勉強の方法も時代と共に変化しているんだな、ということを目に見えて実感しているところです。

泰士さん 僕の中学校でも、授業で何度かタブレットを使ったことがあります。例えば英語の授業で、アプリやカメラ機能を使って発音をチェックしてみたり。最近はそのような端末を使った授業が多くなってきた気がします。

美香さん 娘もまだ挨拶程度ですが、英語で話しかけてくれることもあるんですよ。本人も英語に対して抵抗なく、勉強しているというよりは英語を楽しんでいる感覚なのかもしれません。教えられているのではなく、生活の一部として自然と受け入れている姿が印象的です。



将来子どもたちにはどう成長してほしい？

美香さん 教育環境が整っていて、いろんな視野が広がります。将来の目標を見つけて自発的に行動できるようにしてほしいです。

秀樹さん 「自分がなりたい人になれることが一番だと思います。そこに向かって努力してくれること。まちや地域のサポート力はもちろん、私たち夫婦で、その夢を全力で応援していきたいと思います。

INFORMATION



→ **Nスペ講座** *1
(中学校民間教育団体活用スペシャル講座事業)



学習ノウハウを持った民間教育団体に学習支援事業を委託することで、市内中学生の学習に対する意欲の喚起や家庭学習の定着を促し、更なる学力向上を図ることを目的としています。



→ **ICT教育** *2
(ICTを活用した効果的な授業改善)



市内3中学校各校に41台ずつのタブレット端末の導入と、そのためのWi-Fi環境の整備を実施。タブレット端末や電子黒板、デジタルテレビなどのICT機器の活用は、生徒の学習意欲の向上につながっています。



→ **英語教育** *3
(外国語教育)



市全体でALT(外国語指導助手)を6名配置し、子ども達が英語に触れる機会を多く設定しています。また、小学校では英検Jr、中学校では英検IBAを実施し、英語力の向上に取り組んでいます。

那珂川は人間力が養える
子育てにはバランスの整った環境

もり ひであき
森 秀昭さん(46)
ぶとご
総子さん(43)
とうま
叶真くん(6)
さきは
咲帆ちゃん(3)

SPECIAL 01

NAKAGAWA
NO
KOSODATE
那珂川の子育て vol.2

那珂川へ転居のきっかけは？

秀昭さん 長男が生まれてから、子育てをするならぜひ地元でという私の思いが強く、なかば強引に転居してきました。もちろん那珂川以外にも選択肢はあったのですが、昔从那珂川の良い環境を身をもって知っているという点や、交通の利便性なども知っていたので、子どもにとってきつと良い転居になると確信していました。

総子さん 正直転居する前は不安もありましたが、「一言で言うならば『非常に子育てがしやすいまち』という印象です。特にありがたいのが、同じような年頃のお子さんがあるご家族が周りにとても多いことです。移住してきたご家族も多いのでコミュニケーションがはかりやすく、情報交換がたくさんできる環境には助かっています。



那珂川で子育てする上での
魅力は？

総子さん 一番は「ふれあいこども館」です。子どもたちが幼稚園に入る前、お友達がまだいないときはいつも利用していました。施設のハード面もそうですが、参加できるプログラムが豊富にあるので、親も楽しめます。那珂川に来たばかりの頃にもども館で出会って今も仲良くさせてもらっているご家族もいます。子どもが2人いることで、予防接種のタイミングを忘れてしまうのもアプリ(※1)に登録しておけば安心です。イベントや説明会などの情報はポータルサイト(※2)で調べています。

那珂川のロケーションが
子育てに与える影響は？

総子さん 車で5分も走れば水が綺麗な浅瀬の川で遊べるし、近くの田んぼではオタマジャクシがカエルになっっていく成長を見ることが出来ます。公園は歩いて5分の距離に4つありますし、同級生だけじゃなく小学生のお兄ちゃんたちにも遊んでもらって、引っ込み思案で心配していた長男も、今ではお友達が多くできて安心しました。博多駅まで新幹線で10分ぐらいなので通勤のストレスも少なく、共働きのご家族も暮らしやすいと思います。

秀昭さん 生活環境は私が幼かった頃より格段に発展していますが、良い意味で昔の風景も残っている気がします。

子どもたちもどこか懐っこいというか、物怖じせずにいるんなことに好奇心をもって日々楽しんでます。そういった人間力のようなものを養うには、那珂川は理想的なまちだと思っています。



INFORMATION



*1

母子手帳アプリ

→ **nobi nobi**
by 母子モ



*2

子育て支援ポータルサイト

→ **nobi nobi**



予防接種や健康診断をお知らせしてくれたり、市の子育てに関する情報を教えてくれたり、また子どもの成長を家族で共有できたり。那珂川市と子育て世代の人たちをつなぐアプリです。

※画像はイメージです

元気ななかがわっ子を、地域で育てる。みんなで育てる。そんな想いをカタチにしました。これから出産されるお母さんとそのご家族、子育て中の保護者の皆さまが安心して子育てを行うことができるように、那珂川市が行っている子育て支援の情報を分かりやすくまとめました。

将来を担う子どもたちが、健やかに生まれ育つことができるよう、子育てを社会全体で支援するとともに、子どもを産み、育てることの喜びを実感できる家庭と社会の実現を目指しています。

相 談 こども総合相談窓口



0歳から18歳未満の子どもに関する悩み・問題について、お子さん自身や保護者の方、または、周囲の方からの相談を受け付けています。育児・しつけ・発達に関することのほか、ちょっと気になっていること、市役所の手続きのことなど相談内容は問いません。「子どもにイライラする」「子育てに自信がなくて不安でたまらない」など、誰かに相談したいけど、誰に相談していいかわからない時、さまざまな分野の専門職員が、一緒に考えながら解決に向けてサポートします。

INFO

市役所本庁舎1階・こども応援課内

平日 8:30~17:00 (土曜日、日曜日、祝日を除く)

窓口直通 TEL : 092-408-1036(こども応援課内)



→ のびのび 育児相談

母乳や離乳食のこと、子どものお世話や成長に関する事など、子どもが健康に育つ方法を保健師、助産師、管理栄養士と一緒に考えます。

→ ことばと発達の相談

子どものことばと心身の発達に関する相談を受け付けています。「ことばが遅いかも」「落ち着きがない」などの心配事に言語聴覚士や臨床心理士などの専門の先生が相談に応じます。



→ にじいろキッズ

にじいろキッズ(正式名称「那珂川市療育センター」)は、市内に住んでいる乳幼児期の子どもとその保護者を対象とした「療育機関」。面談を行い、発達の状況に応じて定期的に子どもにあった療育を受けることができます。

交 流 ふれあいこども館



ふれあいこども館(正式名称「那珂川市複合児童福祉施設」)は、就学前の子どもとその保護者を対象としたイベントやプログラム、小学生の遊び場、中高生の学習支援の場などを提供する那珂川市の子育て支援拠点です。

INFO 福岡県那珂川市仲2-5-2 TEL : 092-953-8106
休館日 : 毎週月曜日 開館時間 : 9:00~17:30

ふれあいこども館以外でも

→ 子育て広場「カンガルー」

未就園の子どもとその保護者を対象とした子育て世帯の交流活動を行っています。同年代の友達との遊びを一緒に楽しめます。また、子育て情報の提供、子どもの発達や子育てについての相談、子育てに関する講習なども行っています。

ふれあいこども館 Program 01

すくすくブックタイム

生後4カ月の赤ちゃんを持つ保護者の皆さまに、絵本の読み聞かせを体験していただき、読み聞かせの大切さや読み聞かせのポイントなどを知っていただくものです。また、子育てのアドバイスなどを気軽に聞くことができます。



ふれあいこども館 Program 02

プレパママ講座

出産に対する不安の解消を目的に実施。助産師から出産時の心構えや気を付けておきたい事などの講話を聞いたり、沐浴体験や疑似妊婦体験などのコーナーも充実しています。

→ 各地区子育てサロン

子育てサロンでは、子育て中の親や子どもが気軽に歩いていける身近な場所で、親子で楽しく過ごせる時間を提供。地域全体で子育てを支える仕組みをつくっています。

※子育てサロンは、地区の公民館で開催しています。詳しくは「那珂川市社会福祉協議会」のホームページをご覧ください。

APPLICATION & WEB

無料



母子手帳アプリ
→ **nobi nobi**
by 母子モ



母子モでできる、あれモこれモ
日々成長していく“家族”に寄り添うアプリ

「母子モ」は、子育てをもっと楽しめるようにという願いから生まれたアプリ。育児にまつわる面倒やリスク、うっかり忘れなどを減らします。例えば、予防接種の予約モ、成長の記録モ、市の育児情報モ、しっかりサポート。家族で情報を共有できるから、夫婦で、親子で、育児を分担することもできます。さあ、お母さんモ、お父さんモ、「母子モ」を使って、この時期だけの大切な子育てを楽しんでください。それが、私たち「母子モ」の願いです。

※母子モでは、多言語対応したWEB版もご用意しております。

<https://www.mchh.jp/login>



Google Playはこちら



App Storeはこちら



便利な3つの機能

→ 予防接種日の管理・調整

面倒な予防接種の調整をアプリでサポートします。

- 複雑な接種日を調整
- 予防接種の事前通知
- プッシュ通知で受け忘れの防止



→ 自治体情報配信

市の子育てイベント、講座などをお知らせします。

- 地域の育児情報を随時配信



→ 定期検診のグラフ化

アプリでお子さまの成長記録をグラフで確認できます。

- ご家族での共有可能
- アプリでの成長記録管理



無料



子育て支援ポータルサイト
→ **nobi nobi**



那珂川市の子育て支援情報をお届けします

市が行っている子育て支援の情報をひとつに集約したサイトです。出産・子育てがはじめての方でもわかりやすいよう、子育てにまつわる情報をお子さまの年齢や目的に応じて検索可能。市からのお知らせやイベント情報なども随時掲載しています。



<https://nobinobi-nakagawa.mchh.jp>

※画像はイメージです



SPECIAL 02

イラストレーター

いさやま なおや

諫山直矢

那珂川市出身。福岡市内のデザイン制作会社にてイラスト・デザイン制作に携わり、2013年の独立から福岡市内での活動を経て2017年那珂川にUターン。

Nakagawa People

NAOYA
ISAYAMA

Illustrator

「チャレンジング」な 基盤が息づく 那珂川という場所

有名商業施設でのチョークボードアート・壁面ペインティングなどを続々と実現、「那珂川町は市になります」のロゴデザインを手がけたことでも注目を集める那珂川市出身のイラストレーター・デザイナーの諫山直矢さんが語る、新拠点・那珂川の「イマ」とは。

イラストレーターを志したきっかけは？

物心がついた頃から絵を描くことが好きで、幼少期に兄が描いていた絵を真似して描き始めたことを今でも覚えています。成人を迎えるまでは那珂川の自然溢れる環境で過ごし、本格的に絵やデザインの道に進むことを決意したのが20歳の頃。そのタイミングで福岡市へと拠点を移し、国外での生活を含む8年ほどデザイン制作会社で過ごしてから31歳で独立しました。その後、2017年から故郷である那珂川を拠点として、アトリエを構えました。

活動の場として那珂川に戻ってきた理由は？

理由は2つあります。まずは、故郷という深い親しみがある場所であるということ。もう一つは、今の那

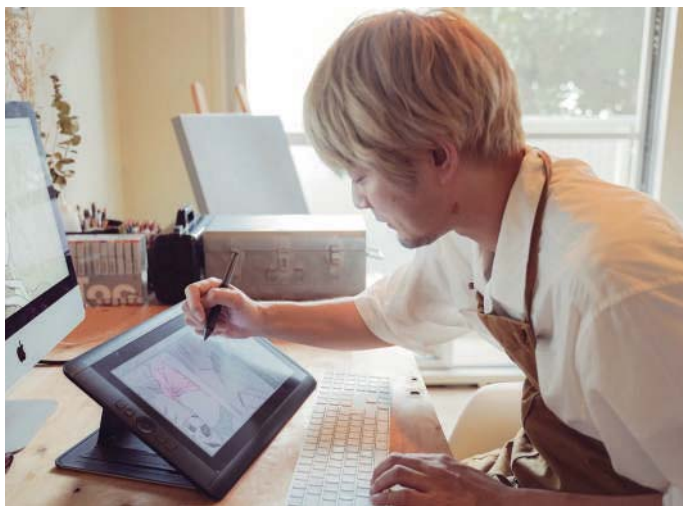
珂川が僕にとって特別な「可能性を感じる」場所だと思ったからです。

那珂川には、若い人たちが独自に新しいことを始めようという時、自らが動くことができ、手を加えられる余地や場があると思うんです。その思いに対してましがしっかりと応え、受け入れてくれる柔軟さが土壌として根付いていて、それは何よりも魅力的なことだと感じました。僕自身も、デザインやイラストの視点から那珂川を変えていきたいという想いがあったので、まず個人的な活動からスタートしました。現在では自治体と共同で、新たに市として生まれ変わる「那珂川市」のロゴデザインや「祭りながわ」でのツールデザイン、地元の子どもたちとのチョークボードのライブペイント体験プログラムなど、那珂川にまつわる様々なお仕事をさせていただけようになりました。自らが手掛けたデザインやイラストを故郷で目にするよ

うになったことはとても誇らしいですね。正直、幼いころは想像もしていませんでした(笑)。そしていま、那珂川は穏やかな環境とは相反して、クリエイターとしてはとても(刺激的)な場所に、進化しています。フィールドが違って、チャレンジングな人やコトがどんどん集まり、自治体含め、まち全体に新しい試みを受け入れてくれるスタンスが一層厚みを増しているんです。

クリエイターとして「那珂川市」にはどんなまちになってほしい？

那珂川の文化的な面には、新しい風が吹いています。那珂川をこうしたい」という熱意のある若手が定期的な集まりを持つては互いに刺激し合い、まちとしてもそんな想いの受け皿に、新たな仕事を始められるコワーキングスペースや様々なコミュニティを充実させています。自治体でデザインやアートを積極的に取り入れるという事例は、全国的に見てもとても珍しいと思います。そんな新たな人という“色”と、受け皿という“キャンバス”で可能性が無限に広がっているまちで、お互いの個の色を活かしながら尊重し合い、共にモノやコトを生み出していきたいと思っています。いろいろな人がそれぞれの立場で新しいまちの姿を描くようなまちづくりに挑戦し続けること



2017年から制作の場としてはもちろん、作品展示・販売、ワークショップ、イベントの場としても活用されている現アトリエ。「生まれた環境なのか、自然に囲まれていないとなんだか気が滅入るんです」、幼少期から馴染みある田園風景にもほど近く、都市と自然が調和した街並みは、気負うことなく素直な自分自身や表現を作品としても昇華できる場だと語る。

で、「面白みあるまち」として、那珂川ブランド“を作り上げていけたら最高です。そしてまた次の世代にとっても、想い描いた夢を叶えられる、そんなまちの基盤を僕らで築いていきたいと考えています。僕自身の子どもがこれから過ごしていく那珂川が、変わらない自然豊かな環境と、変わりゆくチャレンジングなまちの姿勢で、新しい時代を生きる人々を育てていってくださって嬉しいですね。



女性をモチーフとすることの多いイラストレーションは、肩肘を張らず、美しさや可愛らしさを楽しんでほしいという諫山さん。タウンカルチャーやアートシーンにも通じる作品にはファンも多い。写真のTシャツのイラストレーションは、中ノ島公園や裂田溝をモチーフとしたもの。市の象徴でもあるシャクナゲやヤマモモなど那珂川らしい風景やアイコンが、諫山さんらしいイラストレーションとして表現されている。

地域にある魅力を発見し、新たな価値や豊かな暮らしを創造する「ローカルベンチャー」に全国各地で注目が集まる昨今。那珂川市でも、新たな地域活性化にチャレンジする2つのローカルベンチャー企業の挑戦が始まっています。今、最も地域に根差した“那珂川発”の2社が語る、「開拓地」那珂川の魅力とは。



株式会社 南畑ぼうぶら会議
代表取締役 添田 繁昭さん

はじめは、南畑地域を元気にしようと集まった、平均年齢65歳の区長を中心とした7人により誕生したコミュニティ。モットーは南畑を「元気に、面白く」。そのために、移住の相談窓口からイベントの開催、野菜の販売まで、とにかく幅広く活動中。人生の先輩達が描く、那珂川のこれからのストーリーとは。

南畑 ぼうぶら会議

NAKAGAWA COMMUNITY

Q1 現在はどんなメンバーで活動していますか？

南畑地域活性化協議会を7名で発足後、うち3人を中心に法人化。事務員とボランティアの方々を加え活動しています。

Q2 皆さんはどんな経緯で繋がったんですか？

2013年に発足した、南畑地域活性化協議会が母体で、現在は株式会社として活動することに。南畑を元気にしたい有志が集まりました。

Q3 法人化したのはなぜですか？

若い世代がこの土地に住み、誇りを持つためにはまず、雇用や利益を生み出すことが必要だと思ったからです。

Q4 どんなことをする会社ですか？

南畑の産物や加工品の販売や開発、南畑の魅力を伝えるイベント運営など。南畑の豊かな自然と産物を活かし、日々活動しています。

Q5 活動の場としての那珂川の魅力は？

場所やモノの全てを商品にできるということ。豊かな自然、きれいな水、美味しい農作物。昔は避暑地として賑わったまちを復活できれば。

Q6 那珂川からどんなことを発信していきたいですか？

田舎ならではの贅沢さです。この地の食べ物を食べ、暮らすことのありのままがかげがえなく、そして豊かであることを誇りに感じてもらいたいです。



地産地消の野菜や加工品の販売を行う「南畑ぼうぶら市場」

新たに生まれる 那珂川発 コミュニティ

「稼ぐ」「循環させる」という経済性や持続性に繋がる方法や、ニッチなアイデアでも形にできる方法を模索し、ジャンルを問わず、暮らしがもっと楽しくなる「あったらいいな」を形にしている株式会社ホーホウ。メンバーそれぞれの強みを活かして想定外を生み出す。そんなバイオニア集団が切り拓く那珂川の未来とは。



ホーホウ

NAKAGAWA COMMUNITY

株式会社 ホーホウ
もりしげ ゆうすけ

森重 裕喬さん

Q1 現在はどんなメンバーで活動していますか？

取締役3名を中心に、現在メンバーは14名。水族館飼育員からソーシャルワーカーまで、様々な経歴を持つメンバーがいます。

Q2 皆さんはどんな経緯で繋がったんですか？

ナカイチ（博多南駅前ビル）3階のワークスペースの事業設計の際、別々の立場で一緒に仕事をしたことがきっかけです。

Q3 法人化したのはなぜですか？

「個の力を活かす」ため。個の感性を大切に、自分本位におもしろいと思ったことを各々の持つスキルやツールを駆使し、発信、展開するプラットフォームに株式会社が適していました。

Q4 どんなことをする会社ですか？

那珂川市を拠点にイベントや事業、施設や店舗の企画運営を展開し、メンバーの「遊び・学び・仕事」を編集して多様なカルチャーを創る会社。現在はナカイチの「価値」にチャレンジ中。

Q5 活動の場としての那珂川の魅力は？

これから「どこへも行ける、どれを選んでもいい」という可能性を秘めたまちであること。ニッチなことでも認められる寛容な土台をつくりたいです。

Q6 那珂川からどんなことを発信していきたいですか？

那珂川でやれる「面白いこと」や可能性・ヒントを実験してみせる中で、面白いことをやってもいい場所だという雰囲気が発信できると嬉しいです。



博多南駅前ビル「ナカイチ」で実施したトークイベント

Nakagawa People

TAKAHIRO
KOGA

Ceramist

“大器”に向かう 新たなステージを 支えるまち

 こが たかひろ
陶芸家 古賀崇洋

福岡県出身。大学卒業後の2011年から作陶。鹿児島での活動後、2017年から那珂川へ移住。現在は那珂川を拠点に活動、国内外で活躍する陶磁器作家。

ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川の暮らし

那珂川の歴史

那珂川のこと

福岡空港から3駅・ 自然も世界も”近い”場所

那珂川に移住するまでは鹿児島で活動をしていましたが、ありがたいことに作品が広く評価していただけるようになり、国内外問わずさまざまなところで展示をさせていただくケースも増えました。今後の作家活動の拠点を新たにどこに移すか検討しているときに、現在工房として使用している物件に巡りあつたことが、僕の中で那珂川という場所に出会ったきっかけでした。

福岡県出身で、地元にも拠点を構えたいという想いもありながら、移住を検討する上でどうしても必要だった条件は、「世界といち早く繋がれる場所」でした。福岡という場所自体が東京にもアジアにも行きやすい場所ではありますが、中でも那珂川はそのハブとなる福岡空港へ3駅というとても利便性のある立地。お恥ずかしい話ですが、最初は博多南駅も知らず、物件を探していた中では盲点でした。博多南駅から博多駅まで新幹線ではたったの8分。普通の電車感覚で新幹線を利用できるって、斬新で面白いですよ（笑）。さらにそこから10分もあれば福岡空港。月に一度は国外に行くため、あつという間に世界への入り口に辿り着ける環境は本当に嬉しいですね。そして何より陶芸家として無視できないのが自然環境です。どうしても機材を使用する音がしたり、創作をする

上では精神的にも静かな環境も必要であるため、設備や環境のことを考えると、陶芸の拠点は自然環境が豊かで、活動を許容してくれるような寛容な場所が必須条件となります。ここでの昔ながらの田舎の原風景に癒やされる日常生活のワンシーンさえ、ときには自身の世界を追求し、入り込んでいかなければいけない僕の生活には、欠かせないひとコマです。求めている蔵付きの物件に巡りあえたことも本当に幸運



那珂川に新たに構え、古民家をリノベーションしたアトリエの様子。



で、自由にリノベーションさせてもらったのは作家としてのモチベーションや自由の利く創作活動にも繋がっています。そんな充実した環境を求めてか、那珂川には僕のように、古民家を改装してアトリエにしているクリエイターは多いようです。

実際に移り住んでみて改めて感じることは、自然環境と良好なアクセスの両立を求める方にとって那珂川はとてもバランスが良く理想的なまちということ。グローバルになってきた自身の活動にも、大いに寄与してくれています。仕事やお世辞抜きにしても、本当に大好きなまちになりました。これからの作品を世界に向けて発信し、僕自身も次のステージを目指して、ここ、那珂川で活動を続けていきたいと思っています。



東京・六本木ヒルズでの展示をはじめ、国外ではイタリアの「ミラノサローネ」やパリの「メゾン・エ・オブジェ」など世界規模の有名な見本市にも参加し、新進気鋭の若手陶芸家として注目を集めている古賀さん。九州では九州国立博物館での展示も実現させた。古来からの日本の美学と現代的な表現で、見る者に投げかけられるような鮮烈な作品は国内外で高い評価を受けている。

「力」をテーマに東京・六本木で行われた個展「呑むアート展」の様子と古賀さんの作品。
甲冑を装着したようなマスク型の酒器や、モノの力を可視化した尖りの表現が施された作品は古賀さんの代表作。

未来を担う若者

YOUTHS WHO ARE THE FUTURE

国内外で注目を浴びる那珂川出身のアスリートたち。すでに大勢の観客を沸かせる者も、これからは楽しみな未来のトップアスリートも。那珂川で育んだ熱いハートを胸に、今日も自らを磨き続ける。

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川の暮らし

那珂川の歴史

那珂川のこと



01



02



03



04



05



06



07

うめの りゅうたろう
梅野 隆太郎さん

01



阪神タイガース

生年月日：1991年6月17日

ふじかわ こたろう
藤川 虎太郎さん

02



ジュビロ磐田

生年月日：1998年7月24日

ときまつ りゅうこう
時松 隆光さん

03



筑紫ヶ丘ゴルフクラブ

生年月日：1993年9月7日

ふじい ななこ
藤井 菜々子さん

04



エディオン女子陸上競技部

生年月日：1999年5月7日

ありた りゅうへい
有田 隆平さん

05



コベルコスティーラーズ
(株式会社神戸製鋼所)元日本代表

生年月日：1989年3月21日

かなまる こうすけ
金丸 晃輔さん

06



シーホース三河

生年月日：1989年3月8日

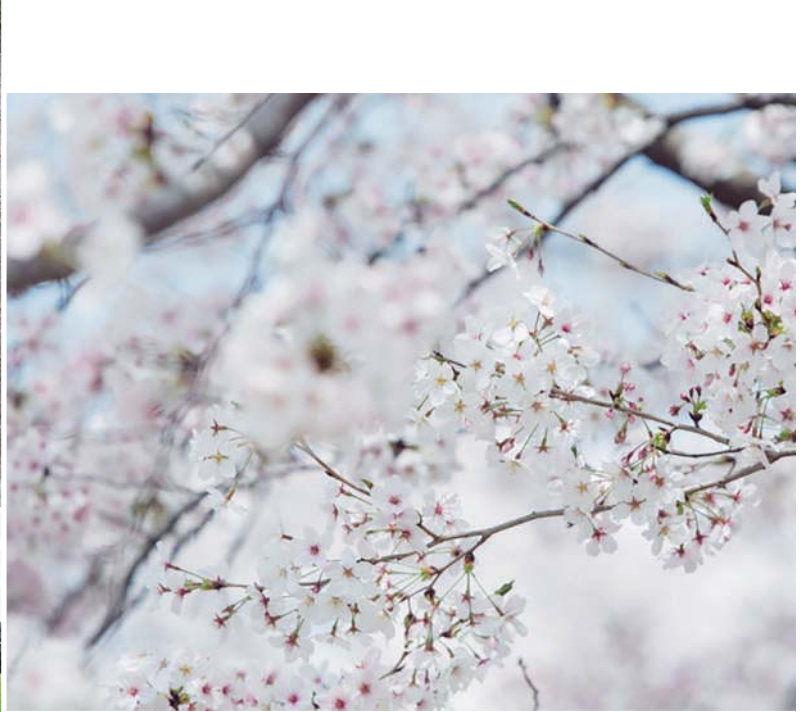
かのう まさひろ
加納 督大さん

07



ライジングゼファーフクオカ

生年月日：1984年7月27日



ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川の暮らし

那珂川の歴史

那珂川のこと

那珂川の景色

ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひとつ

那珂川の景色

那珂川のくらし

那珂川の歴史

那珂川のこと



いつまでも 健やかに 自分らしい暮らし



NAKAGAWA LIFE 那珂川の暮らし

多様な魅力が共存するまち那珂川の
暮らしを、それぞれの角度から。
きっとそこにはあなたにちょうどいい
那珂川の暮らしが見えてくるはず。



那珂川市では、
このような取り組みも

地域で安心と安らぎを持って暮らすことは多くの住民の願いです。地域で暮らす様々な人々のちがいがいや多様性を認め合い、困難を抱える人がいたら、ささえあい・助け合いの精神で自立を支援し、地域と共に生きる社会をつくっていかねければなりません。そのためにも、住民一人ひとりが主体性を持ち、自発的に地域社会へ参画できるまちづくりを目指しています。



人と人がつながり
安心していきいきと
暮らすことができるまち



みんなで手話 なかがわ

那珂川市職員による簡単な手話講座。あいさつや簡単な日常会話などの動画を定期的に市のFacebookやInstagramで発信しています。

人と人がつながる

地域で人と人がつながるために、まずは地域での交流やふれあいの機会をつくります。そして子どもから高齢者まで全ての住民が「声かけ」や「見守り」などでささえあうことで、お互いのちがいや多様性を知り理解し合う関係を構築します。



いきいきと暮らす

地域福祉の推進には、まずは住民一人ひとりが健康でいきいきと暮らしていることが前提です。地域のなかでボランティア活動などのいきがいを見つけ活動する、そして自らの健康に関心を持つことが大切です。

安心して暮らす

住民が安全で安心して暮らすため、地域の防犯活動や緊急時・災害時に助け合うしくみづくり、そして生活困窮者への支援や権利擁護を推進します。そのためにも、これらの情報をわかりやすく発信し、また相談体制の確立を目指します。



1. [ボランティアサークル]住民の親睦を深め、文化を通したまちづくりを推進する多様なサークル活動 2. [防災訓練]地域で災害時の避難場所や避難ルートなどを確認できる防災訓練の実施 3. [こにこステップ教室]ステップ運動やスロージョギング®など楽しく行える運動教室を開催 4. [各地区子育てサロン]子育て中の親子向けのサロンを地区の公民館などで開催 5. [防犯パトロール]子どもたちの見守りや空き巣などの犯罪の抑止力として地域の様々な団体が実施 6. [アンビシャス広場]ボランティア・体験プログラムなどを通して、子どもたちと地域との交流をはかる活動を展開

世代を超えて、文化を育む



○ 市民文化祭

住民参加型の芸術の祭典。
出ている人も観ている人も
笑顔がいっぱいの文化祭

歌やダンス、日本舞踊などの舞台披露、絵画や書、陶芸や生け花などの作品展示、バザーや那珂川の食文化の紹介など、地域に根差した住民の皆さんの文化活動が体感できる文化祭です。



○ 高砂大学



市内の概ね60歳以上の住民を対象に、生涯現役で、心豊かな充実した毎を送るため、同じ趣味を持った仲間を増やし、学びを通して新しい発見ができる、高齢者のための講座です。

○ 青少年育成市民会議



青少年の健全育成のため、地域・家庭・学校・関係機関などと連携し、子育てのヒントになる講演会や非行防止啓発意見発表&パレードなど様々な活動を行っています。

安全、安心なまち

ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川の暮らし

那珂川の歴史

那珂川のこと



消防団

自分たちのまちは、
自分たちで守る

火災時はもちろん、災害が起きれば昼夜を問わず出動し、夏の暑い時も冬の寒い時も訓練を怠らず、地域の消防・防災のリーダーとして活動を行う消防団。普段はそれぞれの仕事を持ちながら、いざという時は現場に駆けつけ、那珂川の安全・安心な生活を守っています。



防災訓練



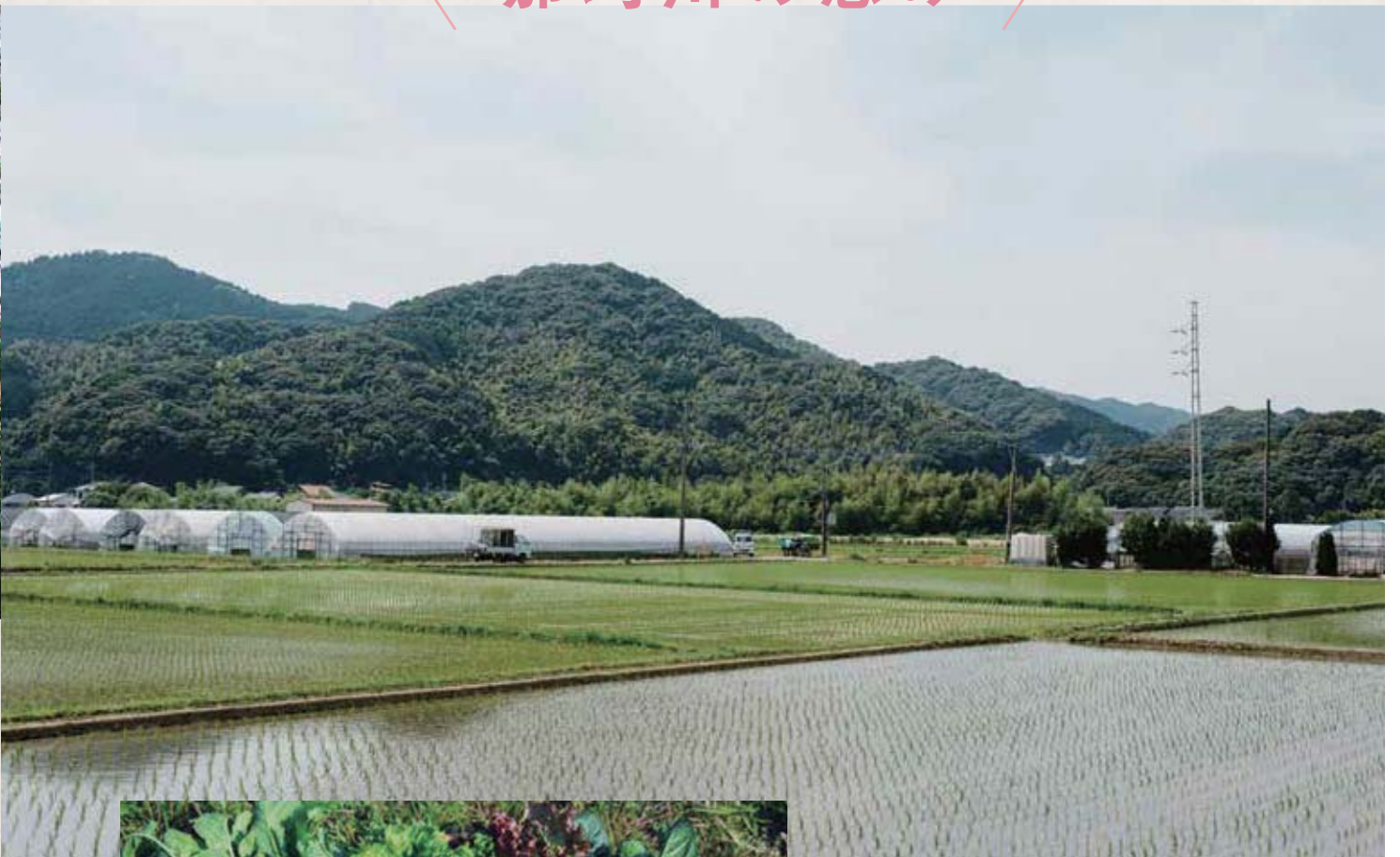
災害時の避難場所や避難ルートの確認をはじめ、土のう作りや消火活動などを体験することができる「身を守る」ための訓練です。年に一度、市内全域で開催されます。

地域の見守り・防犯パトロール



子どもたちの交通安全の見守りはもちろん、空き巣などの犯罪の抑止力となるパトロール活動は、各地区の保護者や防犯組織など、様々な団体によって実施されています。

那珂川の恵み



近所に自然の恵み

市内には南部を中心に約447haの農地があります。稲作をはじめ、キュウリ、トマト、ナス、ピーマン、キャベツ、ブロッコリー、サトイモなど1年を通じて、様々な農作物が栽培、収穫され市場に出回ります。

農業を守り育てるまちを目指し、住民が食の安全と大切さを理解するための取り組みの充実や、担い手の育成支援などに取り組みます。

地元の食材・料理にふれる 地産地消の推進

那珂川市では地元で生産されたものを地元で消費する「地産地消」を推進しています。大人から子どもまで多世代にわたり地産地消の意識が広がることによる地場消費の拡大を目指しており、イベントの実施や那珂川産農作物及び生産者、生産品目、出荷時期、レシピの情報収集などの取り組みを進めています。



那珂川のぬくもり 創り出すチカラ

ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川の暮らし

那珂川の歴史

那珂川のこと



○ 約70パーセントが森林

那珂川市の面積の約70パーセントは、森林です。市立の小中学校では、木のぬくもりあふれる学校にするため、市産木材を積極的に活用し、順次改修工事を行っています。また、那珂川市は、東京おもちゃ美術館と木育推進事業について連携し、誕生のお祝い品として市内の赤ちゃんに市産木材で作った木のおもちゃを贈呈しています。子ども達をはじめ、多くの人に、市産木材に接し、木の温もりを感じながら、楽しく豊かに暮らしてほしいという願いが込められています。



○ はたらく 生み出す 広がる

新しくチャレンジする人、同じ思いの人たちをつなげるきっかけづくりや、それぞれの可能性を広げていく取り組みが行われています。

専門講師を招いて実施される「創業塾」は、那珂川市商工会が主催となり、創業に必要な税務や経理の知識から、集客方法など様々な創業についての必要な知識を身につけることができます。女性がキャリアや将来について考えるきっかけとなる「創業セミナー」は、同じ思いや悩みを持った人との情報共有の場にもなっています。

市商工会女性部が市の木「やまもも」の果実を使い、新商品を開発。生産者・事業者・商工会が手掛ける特産品プロジェクトは、那珂川市の新たな魅力の可能性を広げていきます。



那珂川で遊ぶ

○ 五ヶ山クロス

2019年3月
OPEN!

キャンプはもちろん、サイクリング・クライミング・カヌー・トレッキング etc. アーバンアウトドアの聖地で様々なアクティビティを体験することができます。



五ヶ山ダム湖面ではカヌーが楽しめるように計画中。
穏やかな水面でカヌーに揺られながら、のんびりと自然を満喫できます。

→ キャンプ+クライミング



写真はイメージです

キャンプサイトには高さ約8mのクライミングタワー施設も常設。大自然のなかで、思い切り体を動かせます。



→ トレッキング サイクリング

脊振山に囲まれた五ヶ山エリアのアップダウンはトレッキングやサイクリングに最適です。

○ グリーンピアなかがわ

→ バーベキュー場

雨天OK！日帰りバーベキューを満喫



雨天利用可能な野外バーベキュー場。バーベキューセット(コンロ、木炭、着火剤、網、火ばさみ、トング)の貸し出しをしており、気軽に日帰りバーベキューが楽しめます。※食材は持ち込みとなります。

→ 山水プール

夏は山水プールで思い切り遊ぼう



キャンプ村では7月中旬～9月上旬に山水プールを開放しています。ウォータースライダーや遊具貸し出し(有料)もあり、家族連れのレジャーにもぴったりです。



→ スキップ広場

季節の移ろいを楽しめるガーデンパーク



自然たっぷりの環境に囲まれ、3～11月の間、四季折々の花を楽しむ花園や、力いっぱい走り回ることができる広大な広場、各種イベントも開催可能な大東屋などを備えた、季節の移ろいや自然を満喫できる多目的な利用が可能なガーデンパークです。

○ 中ノ島公園



○ かわせみの里

那珂川の美味しい食が集う生産物直売所

市内で採れた野菜や加工品などを中心に販売を行っている生産物直売所です。春夏秋冬、旬の食材や中山間地区で採れたお米など、那珂川の美味しい食が揃っています。

○ SUMITSUKE

地域の魅力発信基地

那珂川市移住交流促進センター「SUMITSUKE」は南畑地区への移住相談を通して、地域の魅力や暮らしを紹介しつつ、南畑の住民が気軽に集う、憩いの空間としての役割も担っています。



○ 四季彩館

色とりどりのカルチャーで彩られるコミュニティスペース



会議室・多目的室・展示室の3タイプのスペースを備えた四季彩館は、レクリエーションや研修会、各種催し物など多様な用途に応じ、木のぬくもりを感じられる温かみのある空間が特徴のコミュニティスペースです。

中ノ島公園の詳細は
公式サイトをチェック!



<http://www.nakanoshima.fukuoka.jp>



スマホ
でも

SUMITSUKEの詳細は
公式サイトをチェック!



<http://sumitsuke.net>



スマホ
でも

まちは大きな博物館！

五感で楽しむ歴史遺産 なかがわエコミュージアム

「なかがわエコミュージアム」とは、那珂川市内の全ての文化財を後世に継承していきたい歴史遺産と位置付け、本来の場所でそのまま保存・活用し、地域全体をまるごと博物館にしようというものです。これらの歴史遺産は様々なテーマで結びつけられ、そこにストーリーが生まれ、地域の人はもちろん、来訪者にも文化財を通して見る・聞く・香る・味わう・触れるといった五感を使った楽しみや、知る・学習するといった喜びや生きがいを提供しています。この取り組みは、未来の那珂川のまちづくりや人づくりにも活かされ、全ての歴史遺産を将来にわたって那珂川の宝・顔として守り育てていこうという取り組みでもあります。



安徳台遺跡全景

4世紀後半(約1600年前)に造られた前方後円墳で、全長が64m、前と後ろに掘られた堀を含めると81mもあります。福岡の古墳時代を考える上でも、大変貴重なものです。



安徳大塚古墳(国史跡)

安徳台遺跡は約9万年前の阿蘇の火砕流によって造られた台地に営まれています。台地の面積は台地上が約10万㎡と広く、台地全体が遺跡の宝庫で、特に弥生時代の墳墓からは権力を象徴する貴重な遺物が出土し、全国的にも有名です。



安徳台遺跡

左:5号棺、右:2号棺



丸ノ口古墳公園

那珂川市指定文化財をテーマに散策すると、「丸ノ口古墳公園」に辿り着きます。丸ノ口古墳は、6世紀を中心につくられ、石室の奥の壁には全国で8基しか確認されていない「敵打技法」という方法で文様が描かれた装飾が確認できます。ここは文化財と地域住民とのふれあいを目的に公園として開放しており、日常生活と歴史をつなぐ架け橋となっています。



城跡めぐり

岩門城跡頂上

しょうにかげすけ 少弐景資など、城と関係のある人物の歴史を学ぶことをテーマにすると、鎌倉時代から戦国時代まで長い間使われた希少な山城・岩門城跡をはじめ、鶯ヶ岳城跡、一ノ岳城跡などの当時の名残を色濃く残した城跡を巡ることができます。岩門城跡の標高は200mほどあり、福岡平野を一望できる市内でもとびきりのビュースポットです。

にぎわいが一年続く！

受け継がれていく那珂川の伝統行事

ここから始まる未来

特集1 那珂川の子育て

特集2 那珂川のひと

那珂川の景色

那珂川のくらし

那珂川の歴史

那珂川のこと

TRADITIONAL
EVENT SCHEDULE

那珂川の 伝統行事スケジュール

1月

観音山大徳寺の金生神祭り
ほうげんぎょう
もぐら打ち

2月

観音山大徳寺節分護摩たき
高津神社の祭り

4月

安徳宮の天皇さまごもり
大山祇神社（西畑）の春ごもり
十六神社の春季大祭

6月

水もらいごもり

7月

伏見神社の祇園祭「岩戸神楽」
不入道観世音の千灯明祭り
日吉神社・伏見神社・現人神社の輪ごし

8月

八龍神社の盆綱引き

9月

戸板の五穀神祭り

10月

現人神社のおくんち
「流鏝馬・奉納相撲」
十六神社の秋季大祭

11月

火たきこもり（市内の神社）
地祇天神社の祭り

12月

地祇天神社の火たきこもり
厄神様の祭典
毘沙門天祭り
六一神社（仲）の祭り

岩戸神楽



伏見神社で毎年7月14日の祇園祭の夜に奉納され、県の無形民俗文化財に指定されている岩戸神楽。舞は全部で18種類あり、中でも『荒神（あらかみ）』、『問答（もんどう）』の鬼が現れる舞では、鬼に抱かれた子どもは丈夫に育つと言い伝えられ、子の健康を願う親や多くの参拝者でにぎわいます。



日吉神社・伏見神社・現人神社の輪ごし

神社の鳥居に掲げられた竹と茅で作られた大きな輪をくぐりお参りすると「病魔が取り除かれ、その夏は無病息災で過ごすことができる」といわれています。



日吉神社



伏見神社



現人神社

現人神社のおくんち



わが国で最も古い神社のひとつといわれている現人神社。その名は「日本書紀」に由来し、住吉大社の祖ともいわれています。「おくんち」では、古式ゆかしい装束の射手が馬上から弓矢で的を射抜く「流鏝馬」と、力自慢の市内の子ども力士が大勢集まり技を競う「奉納相撲」が行われます。射抜かれた的は魔除けになるといわれ、祭りに来た人たちが拾いあいます。



その昔、那珂川を都にする 幻の計画があった?!

源平合戦(治承・寿永の乱)の際に都を追われた安徳天皇と平氏一門は、原田種直を頼って筑紫の地へとやってきたといわれています。種直は平清盛の長男である平重盛の養女を妻としていたことから、平氏との縁も深い人物でした。現在の安徳台に種直の居城があり、ここが一時的に安徳天皇の御所とされることになったと伝わっています。平家物語には「つくしにみやこをさだめ、だいらつくらるべし」、つまり、筑紫を都として内裏(天皇の住む場所)を作るべきだと平家が話し合ったという記述があります。この計画は結果的に実施には至りませんでした。もし筑紫が都とされていた場合、那珂川のこの近辺が都になっていたという可能性もあるのかもしれませんが、ちなみに・・・この安徳台は約9年前の阿蘇山の大噴火により生じた火砕流が堆積してできた台地です。



安徳台全景

路上遺産 那珂川! Y氏は暇人

Y氏こと山田孝之が福岡のちょっと変わった
観光スポットや路上ネタを紹介します。
今回は町から市となった那珂川へ行ってみました。

Y氏
(山田孝之)



主に福岡を中心とした九州のちょっと変わった観光スポットを日帰り旅行で探訪した記事「Y氏は暇人」から人気に火が付き、テレビ・ラジオなどへのメディア出演、イベント出演・展示、本・雑誌での執筆などその幅広い活躍が目目されている。



大徳寺の山門

弘法大師(空海)那珂川で修行に励む

唐から帰国した弘法大師は博多の地に約2年ほど滞り、現在大徳寺がある観音山を訪れ、行を取ったと伝わっています。大徳寺には弘法大師手彫といわれる梵字岩、弘法大師お手植えといわれる松の根などのゆかりの品が残されています。



日本書紀にも登場する 那珂川の隠れた名所とは?!

一見、何の変哲もない小川のように見える「裂田溝(さくたのうなで)」。実は、日本書紀にも登場する場所で、約1300年以上前に作られた人工の用水路です。日本書紀によると、神功皇后が戦の勝利祈願のために神田を開き、その田に水を引くために掘った溝なのだそう。溝を掘っている途中、巨大な岩が出現し、それ以上掘れなくなりました。そこで神功皇后の従者であった武内宿禰(たけうちのみこと)に祈りをさせると突然雷が巨大な岩に落ち、岩を裂きました。それにより、無事用水路が完成し、現在でも田畑に水を引くために利用されています。この伝承に登場する岩は安徳にある裂田神社裏手一帯の岩盤だと考えられています。



日本書紀にも登場する裂田溝



裂田神社



裂田神社の裏にある岩盤



丸ノ口古墳群のVI群2号墳の装飾



丸ノ口古墳群



中原・ヒナタ遺跡群でもある博多駅前

！ 那珂川の古墳にコーフン！

那珂川市は古くから交通の要衝として栄えた土地であることから、古代の人々の営みがわかる出土物が数多く発見されています。古墳も約500基が確認されており、中でも丸ノ口古墳群からは約60基の古墳が集中して見つかっています。丸ノ口古墳群の中には石室に文様が描かれた装飾古墳もあり、石をコツコツたたき凹ませて文様を描く珍しい技法が使われています。古墳内からは装身具や武器・馬具などが数多く出土しているそうです。ちなみに、博多駅前も実は「中原・ヒナタ遺跡群」といわれる古代遺跡で、ここでもかつての人々の暮らしがわかる出土物が見つかっています。

蒙古の激戦で活躍した将少式景資の岩門城

岩門城は別名「龍神山城」とも呼ばれ、鎌倉時代に起きた元寇の際には博多と大宰府の中間地点であることからこれらを守る重要な拠点になった城です。当時岩門城主だったのは少式景資。博多での蒙古軍との合戦で大きな功績をあげましたが、その後、家督争いなどが原因で攻められ岩門城で没しました。岩門城の麓には少式景資の慰霊塔(伝少式景資之墓)が建てられています。



岩門城跡全景



少式景資の慰霊塔(伝少式景資之墓)



ナマズを祀る神社 伏見神社

山田地区にある伏見神社ではナマズが神の使いとして祀られています。白ナマズと呼ばれる皮膚病にご利益があるとされ、ナマズを描いた絵馬も奉納されています。7月14日の祇園祭では能面系の面をつけて踊る岩戸神楽が行われています。



筑紫耶馬溪

那珂川に耶馬溪??

「耶馬溪(やばけい)」は大分の中津にある渓谷ですが、それになぞらえて全国各地に〇〇耶馬溪とよばれる場所があります。筑紫耶馬溪もそのひとつで、釣りや紅葉スポット、ボルダリングのフィールドとして知られています。

史上最強の名横綱の恩返し?! 双葉山が建てた墓

名横綱・双葉山が妙正尼の恩に報いるために建てられた墓石が五郎丸地区にあります。東京に教会所を持っていた妙正尼と、教会所とほど近かった相撲部屋に所属していた双葉山には親しい交流がありました。双葉山が難病を患い那珂川で病氣療養をした際、妙正尼は親身に介抱し、上梶原の妙音の滝で治療祈禱を行いました。見事双葉山は難病を克服、前人未到の69連勝を達成。第35代横綱になったのです。

那珂川町 62年のあゆみ

昭和31年に誕生した「那珂川町」は流れゆく時代とともに発展を続けてきました。そしてまたここから、「那珂川市」は新たな歴史をあゆみだします。

1956



昭和31年4月 那珂川町が誕生した当時の庁舎

1964



昭和39年2月 当時の町立福岡女子商業高等学校

1966



昭和41年3月 南畑ダム完成

昭和 1956年～1989年

- 31年 4月 南畑村 (人口2,532、戸数443)、岩戸村 (人口3,702、戸数652)、安徳村 (人口2,714、戸数441) の3村が合併し、那珂川町が誕生。庁舎を岩戸村役場におき、同時に安徳支所、南畑支所発足。福岡県立福岡農業高等学校岩戸分校(定時制)を那珂川町立南福岡高等学校(全日制)に校名変更。
- 38年 6月 南畑幼稚園、南畑幼稚園五ヶ山分園、岩戸幼稚園開園。
- 39年 2月 那珂川町立南福岡高等学校を那珂川町立福岡女子商業高等学校に校名変更。高等學校に校舎新築。町立福岡女子商業高等學校校舎新築。西畑小学校を岩戸小学校に統合。後野(福岡女子商業高等学校旧校舎跡)に中央公民館設置。南畑ダム完成。天徳中学校と南畑中学校を統合し、那珂川中学校と改称。

平成 1989年～2018年

- 元年 12月 「非核・平和都市宣言」決議。
- 2年 4月 JR博多南線開業。
- 5年 1月 博多南駅前土地区画整理事業本工事着工。保健センター開設。
- 6年 4月 ミリカローデン那珂川(文化会館、生涯学習センター、図書館、松口月城記念館)開館。葬祭場「華石苑」開設。人口4万人突破。
- 8年 5月 安徳南小学校開校。
- 9年 4月 博多南駅前広場オープン。グリーンピアなかかわ人工スキー場オープン。ミリカローデン那珂川屋内プール開館。ホームページの開設。福祉センター開設。子育て支援センター「すくすく」開設。
- 10年 2月 博多南駅前自転車駐車場及び歩道橋供用開始。
- 11年 4月 春日大野城消防組合に加入。「春日・大野城・那珂川消防組合」に名称が変更。「父子健康手帳」交付開始。安徳台遺跡群で双国の有力首長墓発見。那珂川北中学校開校。博多南駅前ビル供用開始。丸ノ口古墳公園開園。中学校給食開始。町民聴講生制度開始(全国2番目)。
- 15年 4月
- 16年 4月
- 17年 9月

1990



平成2年4月 JR博多南線開業

1994



平成6年4月 ミリカローデン那珂川開館

2005



平成17年10月 リサイクル・プラザエコピア・なかかわ供用開始

2009



平成21年10月 公共施設等循環バス「かわせみ」運行開始

1986



昭和61年7月 グリーンピアながわオープン

1976



昭和51年1月 新幹線博多総合車両基地完成

1974



昭和49年1月 土地区画整理事業工事着手

61年7月	59年8月	58年4月	57年5月	55年4月	54年6月	53年10月	52年6月	51年10月	51年4月	50年3月	49年9月	49年6月	49年1月	48年8月	46年4月	45年12月															
ながわオープン グリーンピア	人口3万人突破	片縄小学校開校	恵子児童館開館	町民体育館(屋内運動施設)、 町民憲章制定	那珂川南中学校開校	「中ノ島公園」整備	「昭和の森」オープン 西畑運動公園に「西畑野球場」 役場庁舎移転(現庁舎)	春日那珂川水道企業団設立	人口2万人突破	安徳東幼稚園開園	町花「筑紫シャクナゲ」制定	町木「ヤマモモ」制定	那珂川町消防本部発足	脊振ダム完成	新幹線博多総合車両基地完成	第1回町民の文化展開催	岩戸北小学校開校	山陽新幹線開通	安徳北小学校	第1回町民運動会開催	中央保育所開設	(岩戸地区、安徳地区)	土地区画整理事業工事着手	第1回町民の夏まつり開催	那珂川町章を制定	岩戸北幼稚園開園	広報「ながわ」定期発行開始	那珂川保育所開設	市街化調整区域の線引き決定	新都市計画法により市街化区域、 南畑小学校に統合	五ヶ山小学校を

10月	6月	30年3月	11月	7月	6月	29年10月	4月	3月	28年2月	27年6月	26年7月	23年4月	22年1月	10月	21年7月	19年9月	18年9月	10月										
那珂川市誕生	総務大臣告示	「那珂川町を那珂川市とする処分」 町を市とする処分について「文書の交付」	博多南駅前ビルが「ナカイチ」の愛称で リニューアルオープン	五ヶ山ダム竣工	岩本初恵氏が「ながわ大使」に就任 「町を市とすることについて」 総務大臣による同意	福岡県知事に「那珂川町を那珂川市と すること」についての申請書を提出	「那珂川町を那珂川市とすること」 について「町議会」で可決	国勢調査確報値50,004人	協力を関する包括協定締結 療育センター「にじむらぎ」開館	株式会社モンベルと包括連携協定締結	「那珂川町を那珂川市とすること」 協力を関する包括協定締結	地方創生に係る連携と 協力に関する包括協定締結	株式会社西日本シティ銀行との 共同研究契約締結	安徳大塚古墳、 本町第一号の国指定史跡となる 株式会社西日本シティ銀行との 共同研究契約締結	国勢調査速報値50,029人	総合戦略及び人口ビジョン策定に 関する九州大学との	ふれあいこども館開館	総合戦略及び人口ビジョン策定に 関する九州大学との	運行開始(南部ルート)	「かわせみ」西畑・南面里線を 「かわせみ」南畑線、通称「かわせみ」 推進センター「あいなか」開設	男女共同参画 協議を締結	福岡大学との連携に関する 協定を締結	「かわせみ」運行開始(北部ルート)	公共施設等循環バス 町内各地基大な被害 中国・九州北部豪雨	療育指導教室「にじむらぎ」開設	博多南駅前ビルが「ナカイチ」の愛称で リニューアルオープン	「男女共同参画都市宣言」決議	リサイクル・プラザ 「エコピア・ながわ」供用開始

2018



平成30年3月 「町を市とする処分について」文書の交付

2018



平成30年3月 五ヶ山ダム竣工

2017



平成29年7月 岩本初恵氏が「ながわ大使」に就任

2016



平成28年2月 国勢調査速報値50,029人

PUBLIC SPACE

那珂川



公共施設紹介



● 那珂川市図書館

住所：仲2-5-1
TEL：092-954-3737



● ミリカローデン那珂川

住所：仲2-5-1
TEL：092-954-2211



● 博多南駅前ビル「ナカイチ」

住所：中原2-120
TEL：092-954-2780



● 中央公民館

住所：後野1-5-1
TEL：092-952-2092



● 福祉センター

住所：西隈1-1-2
TEL：092-953-0996



● 保健センター

住所：西隈1-8-1
TEL：092-953-2211



● 那珂川市役所

住所：西隈1-1-1
TEL：092-953-2211



● 中ノ島公園

住所：大字市ノ瀬445-1
TEL：092-953-0514



● 西畑運動公園

住所：大字西畑1379
TEL：092-953-2112(市民体育館)



● 梶原運動広場

住所：上梶原1-1-1
TEL：092-953-2112(市民体育館)



● エコピア・なかがわ

住所：大字安徳61-18
TEL：092-951-1101



祭りなかがわ



なかがわよかとこ発見隊



3月：走ろう大会 / 5月：恵子児童館こどもまつり
[不定期] なかがわよかとこ発見隊

年間イベント

那珂川

ANNUAL EVENT



水泳大会 / 7月：不入道観世音の千灯明祭り
・伏見神社・現人神社の輪ごし
祇園祭「岩戸神楽」
がわ

その他公共施設

	ミリカローデン那珂川 屋内プール	仲2-6-1	☎:092-951-2021
	地域福祉会館	道善1-23-2	☎:092-952-8998
	ボランティア支援センター「くるりんぽ」	西隈1-1-1	☎:092-952-7654
	第1地域包括支援センター	西隈1-1-1	☎:092-408-9886
	第2地域包括支援センター	片縄北4-2-20	☎:092-951-1600
	勤労青少年ホーム	西隈1-1-1	☎:092-953-2211
	葬祭場「華石苑」	大字上梶原529-43	☎:092-952-1262
	春日・大野城・那珂川消防署西出張所	大字山田1159-1	☎:092-952-6000
市立公民館	北地区公民館	片縄5-86	☎:092-952-8852
	南地区公民館	大字埋金853-11	☎:092-952-7687
	東地区公民館	五郎丸3-9-19	☎:092-953-0999
保育立所	中央保育所	東隈1-12-1	☎:092-952-5101
市立幼稚園	岩戸幼稚園	西隈1-9-17	☎:092-952-2006
	南畑幼稚園	大字埋金811-1	☎:092-952-2095
	岩戸北幼稚園	恵子1-1-2	☎:092-952-5054
市内小学校	安德小学校	松木2-134	☎:092-952-2122
	南畑小学校	大字埋金530-1	☎:092-952-2007
	岩戸小学校	西隈2-6-43	☎:092-952-2108
	岩戸北小学校	恵子1-1-1	☎:092-952-4883
	安德北小学校	五郎丸1-11	☎:092-952-4899
	片縄小学校	片縄北1-15-1	☎:092-952-7056
	安德南小学校	上梶原1-1-1	☎:092-953-6311
	岩戸小学校後野分校	大字後野279-2	☎:092-952-2721
市内学童保育所	安德学童保育所	松木2-134	☎:092-953-1766
	南畑学童保育所	大字埋金530-1	☎:092-953-3660
	岩戸学童保育所	西隈2-6-45	☎:092-953-1768
	岩戸北学童保育所	恵子1-1-1	☎:092-953-3141
	安德北学童保育所	五郎丸1-11	☎:092-952-8147
	片縄学童保育所	片縄北1-15-2	☎:092-952-8133
	安德南学童保育所	上梶原1-1-2	☎:092-953-6221
市内中学校	那珂川中学校	仲3-19-1	☎:092-952-2111
	那珂川南中学校	上梶原1-2-1	☎:092-952-7915
	那珂川北中学校	片縄西3-26-1	☎:092-953-7887
	那珂川中学校後野分校	大字後野279-2	☎:092-952-2721
都市公園	岩戸公園	片縄3-117	☎:092-408-9863
	安德公園	今光4-168	☎:092-408-9863
	裂田溝公園	大字山田540	☎:092-408-9863



● 療育センター「にじいろキッズ」

住所：松木2-207
TEL：092-953-2525



● ふれあい子ども館

住所：仲2-5-2
TEL：092-953-8106



● 恵子児童館

住所：恵子4-1-2
TEL：092-953-0159



● 市民体育館

住所：恵子4-1-1
TEL：092-953-2112



● グリーンピアながわ

住所：大字五ヶ山870-2
TEL：092-953-3373



● 移住交流促進センター「SUMITSUKE」

住所：大字市ノ瀬443-1
TEL：092-953-2211（那珂川市役所）



毘沙門天祭り



市民文化祭

冬

11月頃：環境フェア / 11月：中山間ふる里まつり
12月：人権フェスタ / 12月：毘沙門天祭り

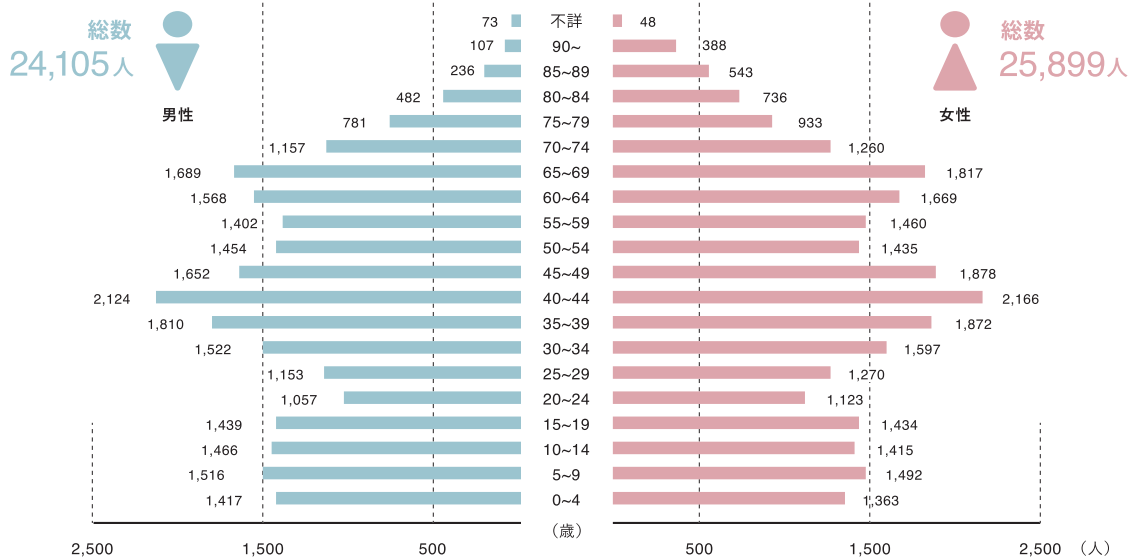
秋

9月頃：「バスの日」記念イベント / 10月：健康スポーツフェスタ
10月：現人神社のおくんち / 10月：ボランティア・フェスタ
11月：市民文化祭

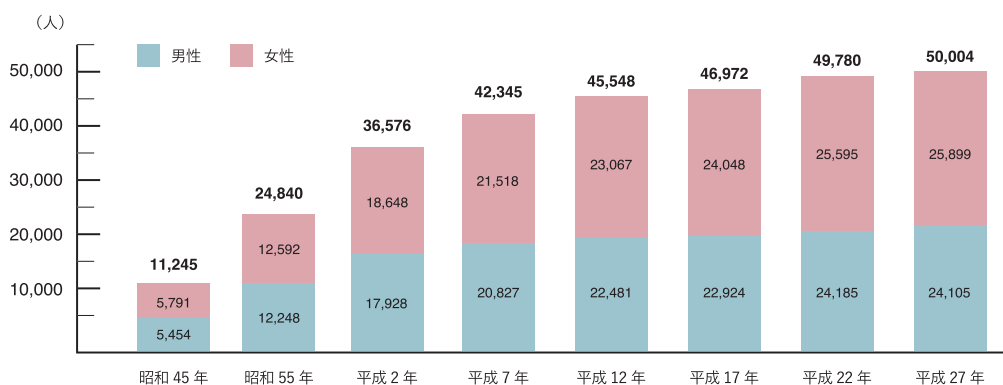
夏

6月：那珂川市
7月：日吉神社
7月：伏見神社
8月：祭りなか

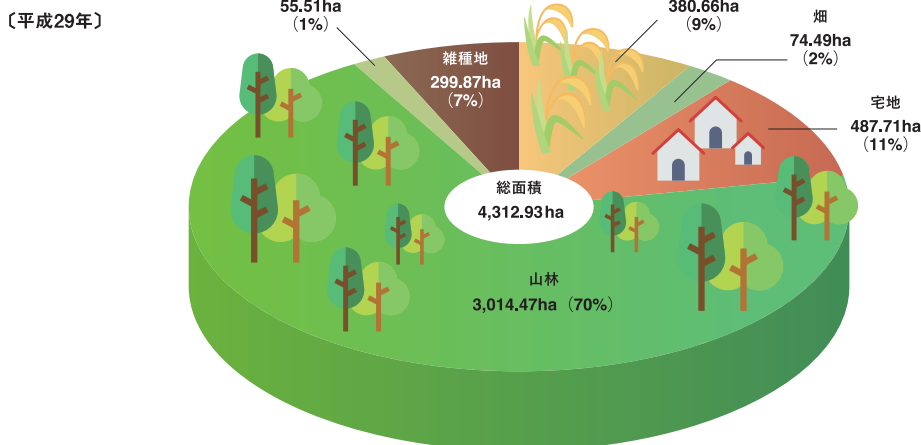
年齢別男女別人口分布 (平成27年国勢調査)



性別人口の推移 (国勢調査)



地目別課税面積 (平成29年)



市民憲章

わたくしたちのまち那珂川市は、那珂川にはぐくまれ、自然に恵まれた、かぎりなく発展するまちです。
わたくしたちは、この市の市民であることに誇りをもち、住みよいまちをめざし、ここに市民憲章をさだめます。

自然を大切にし
水と緑の美しいまちをつくりましょう

きまりを守り
助け合う心豊かなまちをつくりましょう

からだをきたえ
健康で明るいまちをつくりましょう

勤労を尊び
暮らし豊かなまちをつくりましょう

歴史遺産を守り 文化の香りたかいまちをつくりましょう

那珂川市議会

那珂川市議会は、市民から選挙で選ばれた議員17人で構成されています。議員はそれぞれ総務文教・経済福祉のいずれかの常任委員会に所属し、市の予算や条例などの重要なことがらや、住民生活のさまざまな課題について、きめ細かく審議をしています。これからも、活発な議会活動を通じて、市民、行政と一体となって、住民福祉の向上に向けて取り組んでいきます。



市長挨拶



昭和31年4月、南畑・岩戸・安徳の三村が合併し「那珂川町」が誕生。そして平成30年10月、福岡県内では29番目、全国では792番目の市として「那珂川市」が誕生しました。

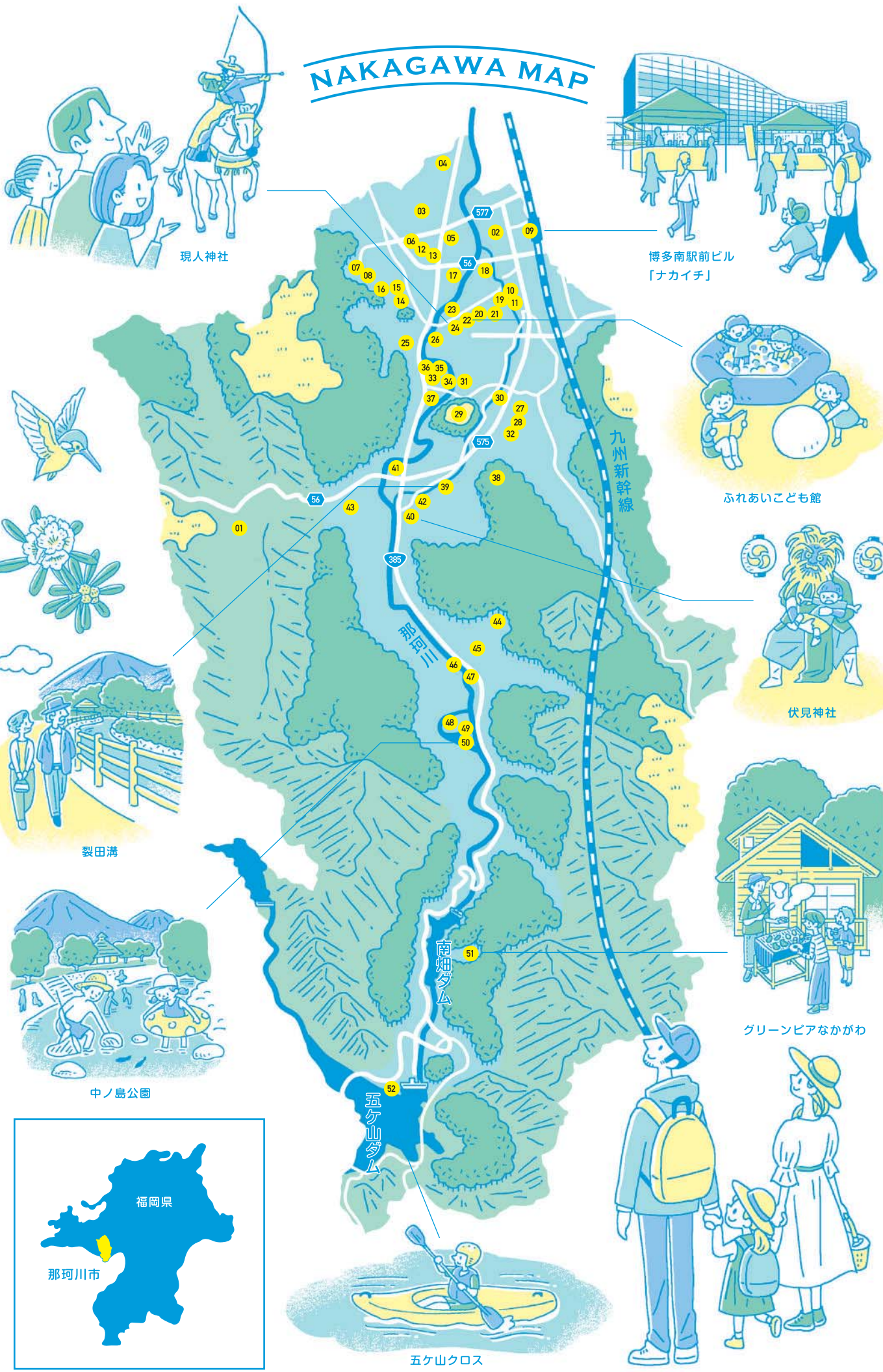
市民の皆さまをはじめ、関係機関の皆さまの、格別のご尽力、ご支援の賜物であると、心から感謝申し上げます。

これからも、地域の実情に合った質の高い行政サービスの提供を目指し、多くの人や企業に、住んでみたい、ずっと住みたいと思っていただけるまちづくりに取り組み、選ばれる自治体を目指します。

那珂川市は、自然豊かで、都市部にも近く、暮らしやすいまちです。「自然と人がとけあう活力あふれるまち」那珂川市の魅力を多くの皆さまに感じていただけることを願っております。

那珂川市長 たけすえ 武末 しげき 茂喜

NAKAGAWA MAP



現人神社

博多南駅前ビル「ナカイチ」

ふれあいこども館

伏見神社

裂田溝

中ノ島公園

グリーンピアなかがわ

五ヶ山クロス

福岡県
那珂川市

沿革

明治22年(1889年)4月30日、町村制の施行によって南畑村、岩戸村、安徳村の三村が誕生。昭和31年(1956年)4月1日に三村が合併して筑紫郡那珂川町が誕生しました。発足当時の人口は8,948人でしたが、恵まれた自然環境や大都市福岡市の都心部から至近の距離にあることから人口は増加していき、町誕生から62年後の平成30年(2018年)10月1日に筑紫郡那珂川町は、那珂川市となりました。

福岡県西部に位置する那珂川市は、東は春日市、大野城市、筑紫野市、南は佐賀県、北と西は福岡市に接しています。市北部は平野で市街地を形成し、南部は三方を脊振山系に囲まれ、ここに源を発する那珂川が市の中央を南北に貫流し博多湾に注いでいます。地形は概ね楕円形で、南北14.5キロメートル、東西6.2キロメートル、総面積は74.95平方キロメートルです。

市章



市章は、市の中央を流れる那珂川のナをもちこんで『緑と水のまち』を表しています。

市の木 ヤマモモ



市内に多く自生している常緑樹で、よく葉が茂り、その緑は匂いを感じさせてくれます。雄々しい樹幹はよく水分を含み、青々とした葉の色は、水と緑の那珂川市のイメージに非常によく合います。

市の花 筑紫シャクナゲ



市の山中に昔から自生している低木で、緑の中に華麗に咲く花は自然豊かな那珂川市のシンボルにふさわしいものです。

市の鳥 カワセミ



市を貫流する清流那珂川に生息するきれいな色彩と姿態の鳥で、自然豊かな那珂川市を象徴するものです。

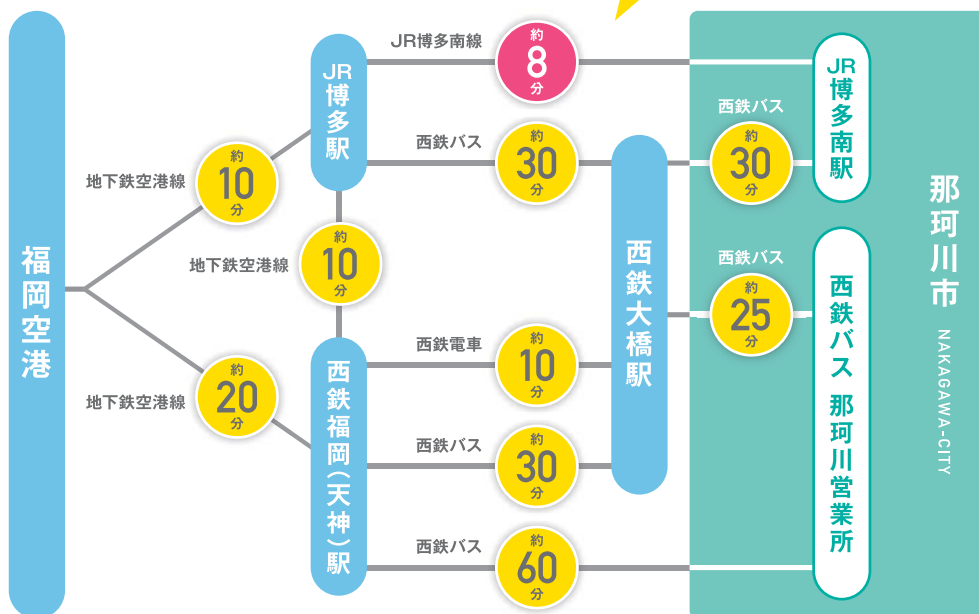
NAKAGAWA MAP LIST

01	西畑運動公園	西畑1379
02	安徳公園	今光4-168
03	片縄小学校	片縄北1-15-1
04	第2地域包括支援センター	片縄北4-2-20
05	岩戸公園	片縄3-117
06	北地区公民館	片縄5-86
07	丸ノ口古墳公園	片縄西3-26
08	那珂川北中学校	片縄西3-26-1
09	博多南駅前ビル「ナカイチ」	中原2-120
10	安徳小学校	松木2-134
11	療育センター「にじいろキッズ」	松木2-207
12	岩戸北小学校	恵子1-1-1
13	岩戸北幼稚園	恵子1-1-2
14	市民体育館	恵子4-1-1
15	恵子児童館	恵子4-1-2
16	岩戸小学校・那珂川中学校 後野分校	後野279-2
17	地域福祉会館	道善1-23-2
18	安徳北小学校	五郎丸1-11
19	東地区公民館	五郎丸3-9-19
20	那珂川市図書館	仲2-5-1
20	ミリカローデン那珂川	仲2-5-1
21	ミリカローデン那珂川 屋内プール	仲2-6-1
22	ふれあいこども館	仲2-5-2
23	那珂川中学校	仲3-19-1
24	現人神社	仲3-6-20
25	中央公民館	後野1-5-1
26	中央保育所	東隈1-12-1
27	安徳南小学校	上梶原1-1-1
27	梶原運動広場	上梶原1-1-1
28	那珂川南中学校	上梶原1-2-1
29	安徳台遺跡	安徳
30	安徳大塚古墳(国史跡)	安徳・仲・下梶原
31	那珂川市役所地域整備部	安徳702-1
32	エコピア・なかがわ	安徳61-18
33	那珂川市役所	西隈1-1-1
33	第1地域包括支援センター	西隈1-1-1
33	ボランティア支援センター「くるりんポ」	西隈1-1-1
34	福祉センター	西隈1-1-2
35	保健センター	西隈1-8-1
36	岩戸幼稚園	西隈1-9-17
37	岩戸小学校	西隈2-6-43
38	岩門城跡	山田・安徳・上梶原
39	裂田溝	山田~今光
40	伏見神社	山田879
41	春日・大野城・那珂川消防署西出張所	山田1159-1
42	裂田溝公園	山田540
43	大山住神社	別所687
44	不入道の滝・不入道観世音	不入道188-3
45	南畑小学校	埋金530-1
46	南地区公民館	埋金853-11
47	南畑幼稚園	埋金811-1
48	日吉神社	市ノ瀬441-1
49	移住交流促進センター「SUMITSUKE」	市ノ瀬443-1(中ノ島公園内)
50	中ノ島公園	市ノ瀬445-1
51	グリーンピアなかがわ	五ヶ山870-2
52	五ヶ山クロス	五ヶ山

アクセス

ACCESS

JR博多駅から
JR博多南駅まで **片道300円**



ここから 那珂川市

K O C O C O L O R N A K A G A W A - C I T Y

那珂川市 市勢要覧

発行 / 平成30年10月

那珂川市総務部総務課 〒811-1292 福岡県那珂川市西隈1丁目1番1号

TEL 092-953-2211 FAX 092-953-0688

<http://www.city.nakagawa.lg.jp>

hisyokoho@city-nakagawa.fukuoka.jp